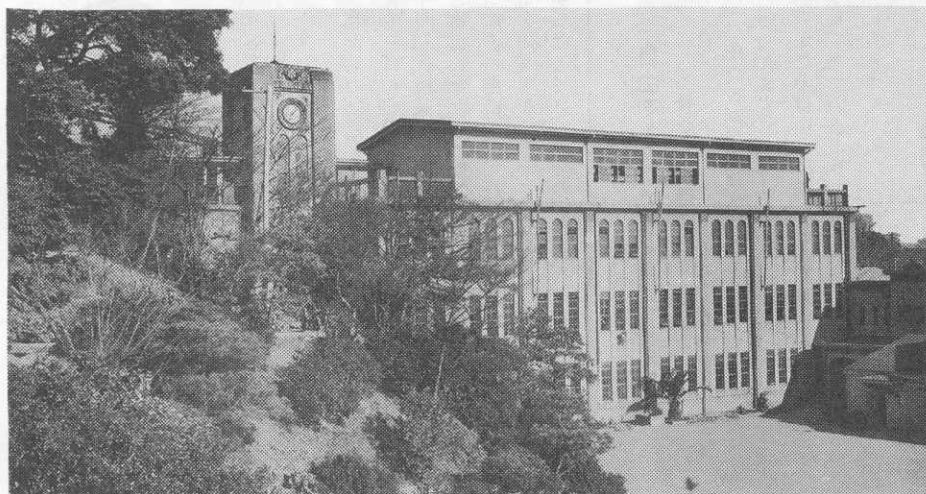


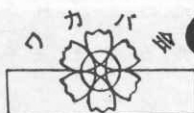


▲昭和30年頃
の旧校舎



◀現在の校舎

わ
か
ば



東京都立三田高等学校同窓会
社団法人 **ワカバ会**

▶ワカバ会の事務

時間 午前10時30分～午後4時

休日 土曜日・日曜日・祝祭日

▶連絡先 〒108 港区三田1-4-46

電話 (03) 3451-0227

振替 東京 8-81170

第54回 同窓会総会の御案内

日時：平成3年 **5月19日(日)** PM 1:00～4:00

会場：母校音楽講堂

課題：平成2年度事業報告／決算報告

平成3年度事業計画／予算案審議

会費：**1000** 円

▶議事終了後、親睦パーティ及び福引大会を行います。軽井沢山荘
宿泊券のほか、豪華な賞品を多数用意して、会員の皆様の御出席
をお待ちしています。

▶新入会員の皆様へ

当日参加者に、もれなく『新入会員名簿』をプレゼント！

しかも、会費は不要です！ぜひ御出席下さい。

▶4月29日の総会はありません。



「三田高校は自由な学校である」といわれます。事実、多くの生徒諸君がこの自由な校風を慕って入学してきているようです。

自由であること 名誉会長 依田 好雄

立以来営々として築きあげられてきた貴重な校風であり、伝統ですが、残念なことに近年この校風にも危機が訪れてきています。時の流れと社会の急激な変化は若者達の意識や行動を大きく変えてしまいました。「自由であること」のみを求め、肝心な「義務」とか「責任」を怠ってしまう傾向が強みえるのもその一例といえます。「自由であること」の貴重さや有難さは、それを失ってから気づいたのでは遅すぎます。

幸い、生徒達もこのことに気づき、考えはじめてはいるようです。昨年二月に発行した生徒会誌の特集「今どきの三田高校」でこの問題をとり上げました。「三田高生の今と昔」の中で、自由に関する今昔の違いを次のように分析しています。昔は、「主権的な自由」であり、自由に対して責任をもって「いた」それに比べ今は、「与えられた自由であり、自由に対して無責任である。」

平成二年度 先生方のご異動

〈ご勇退ご転出された先生方〉

〈ご転入された先生方〉

金原 達人	教頭	砂川高校校長	井上 清志	教頭	大森東高校
林 茂男	国語	大妻大学、中野女子高校	永野 正忠	国語	江戸川高校
宮崎 正晴	数学	白鷗高校	須々田清悦	数学	東高校
江部 幸夫	数学	日比谷高校	吉岡 久	数学	城東高校
和田 米郎	保体	志村高校	猪狩 洋一	保体	小笠原高校
三澤 寿喜	音楽	小山台高校	平松 剛一	音楽	八潮高校
太田 志保	英語		鈴木 文子	英語	葛西南高校
桜井 安隆	化学		細井 富男	化学	芝商業高校
石塚 勤	主事	豊多摩高校	岡嶋 潤	主事	赤羽商業高校
			富士 智和	主事	新規採用

会員の皆さまへ

会長 若菜 允子



私たちの同窓会、ワカバ会は、昭和三年に創設され、昭和十一年十月初代校長の丸山丈作先生からご寄付いただいた農園寮地を基本財産の一部に加えて社団法人の認可を得て現在に至っております。あらためてワカバ会の定款をみて

みますと、ワカバ会の目的は、会員相互の親睦をはかること、母校である三田高校の発展に協力すること、文化事業を行い会員ならびに公共の福祉増進に寄与することとされており、この目的を達成するために各般にわたる事業を行うこととされています。これまでのワカバ会は、この目的の実現を目指し、多くの会員のボランティア精神に支えられてさまざまな活動を展開してきたわけですが、その活動の根底には会員の皆さま一人々々のワカバ会に対する熱い思いが絶えることなく燃え続けていたということができるでしょう。

言い換えれば、一万八千余名にのぼる会員の皆さまがワカバ会の力です。そこで会員名簿の作成というところが、ワカバ会にとって重要な事業の一つということになります。このことをふまえて、昨年の理事会において平成四年に新しく会員名簿を発行することを決め、その準備に着手しました。今後名簿作成のため会員の皆さまにいろいろとお手数をおかけすることになりますが、名簿作成がワカバ会の基礎づくりであることをご理解下さいましてご協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

総会報告

平成二年五月二十日午後一時より母校音楽講堂で、第五十三回ワカバ会総会が催された。定足数百名に対し、正会員百三十九名の出席があり、若菜会長を議長に選出し、次の議案が承認

可決された。
一、平成元年度事業報告・決算
一、平成元年度監査報告
一、平成二年度事業計画・予算案
引き続き午後二時より、現旧の先生方、三十名のご出席を得て懇親会となり、恒例となった福引を楽しみ、賑やかな歓談のうちに午後四時散会した。

母校だより

先生方近況

六月の関東地方入梅予定日前後して行なわれる体育祭は今、母校グラウンドで実施されている。一

昭和53年度、54年度、55年度、平成元年度に母校を転退職なさった先生方の近況を伺いました。

教頭 井内 宏

東京女子体育大学の事務局で、教務第一課長をしています。

数学 荒井 淳雄

学年八組を四つの色に分け、三年一丸となって色別対抗になっている。応援団を組織し、リズムミ

本年海外子女教育財団辞任。練馬区国際交流協会評議員。目下自宅で資料整理自分史のまとめなど。ワープロに挑戦しボケ防止に専念。

校長 長谷部 正治

都立雪谷高等学校校長、私も六十歳、四月で公立高校を離れることになりました。健康に恵まれて、毎日楽しく生活しています。

校長 藤川 侃二

在職中はいへんお世話になりました。退職後財団法人東京都体育協会常務理事・事務局長として元気で過しております。

教頭 御厨 良一

えたが、メイボールが復活している。旧校舎時代ではグラウンドが二箇所に分かれていたが、今は校舎が六階建になり道路に面して建てられ、右手にプール、体育館と格

平成元年三月、白鷺高を最後に定年退職。現在大妻女子大中野女子高校長として、元気に勤務。三田のような学校に思っています。

事務長 山口 博郷

技場があり、その奥に全天候型校庭とオセンチ山と、グラウンドが続く。見学に立ち寄って下さい。

本校改築完成後高島養護を経て九学区保谷高校に勤務しております。三十学級規模の学校ですが学級減を迎える新年です。

国語 大河原 静江

三田を離れましてからは、家族の介護という役割が今もつづいています。その為か、自分の健康状態をコントロールする術を、身につけたようにも思える昨今です。

世界史 宮崎 正勝

筑波大学附属高校で世界史を教えて居ります。一年かけて作った各国史年表が、本としてまとまりそうです。

高城重躬先生訪問記

先生は昭和十一年数学の先生として赴任、教頭先生になられて、昭和三十九年三月転出なさいました。初代丸山先生から第七代西村先生までの校長先生とともに歩まれました。先生のお宅におじゃましてお話を伺いました。

★担任としての思い出

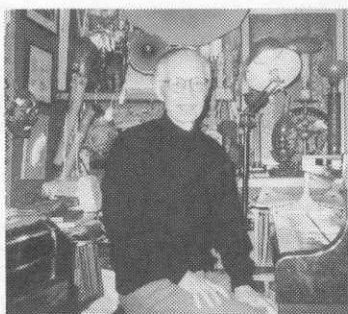
着任の翌年には女学校五年生の担任になりました。その教え子達ももう七十才を過ぎましたが今でもクラス会を開いて私を呼んでくれます。

★数学の先生としての思い出

着任当時は男子中学に比べ、進度が遅れていましたが、数年間がんばって指導し、その後は進学した生徒も最初の一年はすでに習ったことの復習だったほどになりましたよ。朝七時には田町駅に着き、始業前に一時間補習をしました。お茶の水への進学数は全国一になり、先生が教育実習生を連れて見学に見えるようになりましたよ。

★三田高の魅力は

着任した時から講堂にあった

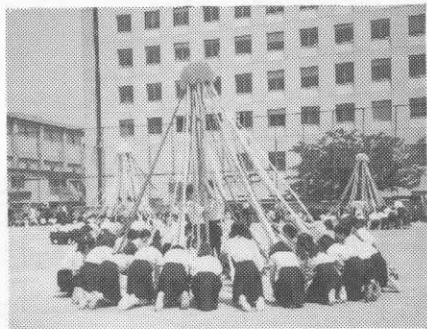


★現在の様子

月に数本の原稿を書いたり、本も出版しました。喜寿の記念にピアノを演奏し録音、CDにしました。時々病院に通っておりますが、けっこう楽しく暮らしておりますよ。

★会員の皆様へ

本にも書いたとおり「一貫して打ち込むもの」を是非みつけて下さい。



音 信

私の仕事

5-4 佐藤ギン子



〈現在労働省総務審議官として活躍の佐藤さんからお仕事をふり返って一文をお寄せいただきました。〉

労働省に入って三十三年が経ちました。この間、アメリカとイギリスに留学し、二度出産しましたが、何とか働き続けることができたのも、公務員制度と、上司の御理解、同僚やスタッフの協力のおかげと感謝しています。

昨年の七月に、雇用機会均等法の施行その他女性の地位の向上を所掌する婦人局長のポストから現在のポストに移りました。

現在の仕事は、労働省の基本的な政策の総合調整・労働に関する国際関係一般、労働経済に関する総合的分析・見通し、女性問題の企画・立案などです。

まず、国際関係については、①ILO(国際労働機構)、OECD(経済協力開発機構)などを通じての労働問題に関する国際協力、②開発途上国への技術援助、③諸

外国との交流による相互理解の促進、諸外国の労働事情の情報収集などが主な仕事です。

日本政府は、ILOの理事国となつていますので、毎年、十一月と二月の理事会、五、六月の理事会・総会に通算、七十日位ジュネーブに滞在することになります。このほかにも、外国へ出かける機会の多い仕事です。

最近では、豊かな日本の労働事情に対する関心が高まり、諸外国政府、国際機関、労働組合、企業などの要人の来訪も多く、これらの方々と会話し、日本の実情を理解していただくことも大切な仕事の一つです。

アジア、アフリカ、中南米などの開発途上国に、二国間ベースであるいはILOを通じて多国間ベースで、職業訓練、労使関係、雇用対策、労働基準監視などの援助を行ったり、日本での研修のため、これらの国の方々を受けいれたりしています。

諸外国の労働事情についての調

査研究も行っており、毎年、海外労働白書として公表しています。

国内問題についていえば、現在働く人の約四分の三は雇用労働者、国民の半分は女性、これらの人々の家族、さらに中小零細企業も含めた事業主を加えれば、国民の大部分は、労働省の施策の対象となっており、労働省の大切な顧客とおとく様ということになります。

産業優先から、国民一人一人の生活を豊かにという方向に国の政策の目標も変わりつつある現在、これらの方々の雇用の確保、労働条件の向上、労働環境の改善、女性の働きやすい環境の整備などの政策のとりまとめの責任者としての仕事も多岐にわたっています。

特に、人口の高齢化が急速に進みつつある中で、高齢者の方々の雇用の場を確保するため、定年延長その他の対策を促進すると同時に、女性に能力を発揮していただくよう、また女性が働いていても安心して子供を生み育てられるような環境を整備することも重要です。このほか、よく働くと同時にゆとりある人生を送ることができるような対策も含め、国民の一人一人が豊かな人生を送れるよう、非力ながら、精一杯努力しております。

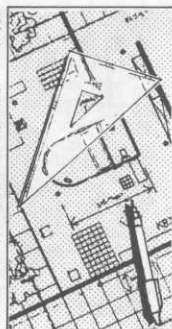
建築とのつき合い

7-7 斉藤 敬子

“どうして建築をやるようになったのですか”とよく聞かれます。三田高校時代の三十五年前には、私のまわりには建築家とよばれる人も存在せず、建築そのものの知識もありませんでした。ベストセラーとなった原田康子の「挽歌」が出版されて、建築家がクローズアップされたのも後年のことでした。

大学受験に失敗し、志望していた職業もあっさりあきらめ、今でいう花のOL生活に入ったものの、秋風と共に何か技術を身につけたい、再度受験しようと思いついた、学校の事務室へ相談に行きました。丁度、氷上先生がいらして、

「ちょっと、あなた！一年もたないで辞めるなんて勝手な事をされては困ります」と今でもあの声が聞こえるようです。後輩の就職に迷惑をかけるなど考えてもみなかった自分勝手な反省し、それでは二足のわらじを履いてやってみよう、理工系の機械、電気、土木、建築から消去法で選んだのが建築でした。当時女性は九十人中三人でしたが、他の学科にはいなかったようです。会社の上司も



暖かく見守ってくれ、なんとか両立できたのも一旦就職したからは三年は頑張ろうという氷上先生との約束があったからと感謝しています。

卒業と同時に設計事務所に転職し、協力して建物を造り上げる仕事の喜びを知りました。構想から完成まで時間と労力からいえば、間尺に合わない報酬でもやっていられるのは、この喜びがあつてこそでしょうか。建築の世界では女性だからということとは通用しません。取組んだ仕事の労働条件は同じです。締切りに追われ、納得いくまで何度も図面を書きなおし、コストの検討やらと徹夜の続くこともあります。このような状態では家庭での協力者がいなければ育児は無理でした。「ル・コルビュジェ」だって建築をやらなくて絵を画いていた期間が十年あった。仕事は人を追いかけていくよ。」と所長にはげまされ、育児に専念することにしました。その間、地域の自治活動、PTA、同好会と地元根をおろし、それが又仕事につながって、マイペースで建築と

かわかることができました。建築は生活あつてのもの、いろいろな経験が設計に役立ちます。もちろん機能だけでなく造形が優れていることが大事ですが、少なくとも使いやすい建物を設計することには役立ちます。

大学の四年間、建築を通して物の見方、考え方を教えて下さった教授や仲間達、実務を指導して下さい設計事務所での経験がマイペースで生活する心の支えとなった育児期間でした。

末子が中学生になったのを機会に地元の設計事務所に再就職し、早や十年、三十年前と同じような状態で仕事をしています。現場監理でヘルメットをかぶり、高い足場に登っている姿は高校時代の私からは想像できないことでしょう。

女性が仕事をもつと避けて通れない家庭との両立問題、どうすればいいかずっと考え続けてきたのに答えは出ていません。私は私なりにその時々判断で、まわり道をしながらも建築にかかわってこられた事で、これでよかったかなと思っています。

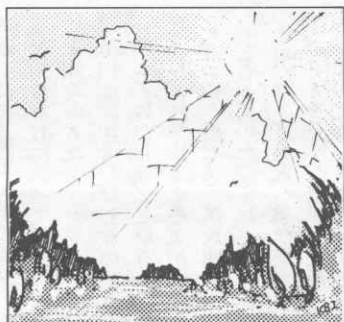
自然と親しむ会に参加して

17-7 吉田 由美子

企画委員会主催の催しに参加

された方からのお便りから一つご紹介いたします。〓

〓尾瀬へ行ってみたい〓という想いは、多かれ少なかれ誰もが持っているのではないのでしょうか。学生時代に友人と尾瀬行を計画しましたが、不都合が出来て中止。以来、いつかきつとの思いを胸に秘めていました。昨春のわかば会便りに、尾瀬の自然と親しむ会の参加者募集記事を見付けるや、矢も盾もたまらず行きたくなり、即刻、申し込み致しました。幸いな事に、出発日近くなつてキャンセルがあつたとの事で、主人も参加させていただける運びと成りました。彼は、私以上に花や緑が大好きなのです。



旅立ちと成りました。沼山峠を越えて大江湿原に入るや、そこはもう水芭蕉の群生地でした。憧れの

尾瀬について来たのです。一行十四名のほとんどが、この時期に尾瀬入りするのは初めてで感動でした。木道を進みながら、講師の笠原先生が左右に咲く花の名を幾度も復誦して教えて下さるので、私達は、知らず知らずのうちに花の名を覚える事が出来ました。その数は五十種以上もありました。中でも、朝まだきもやの中に見たサシカウの花の白さと、可憐なミツガシワの印象は忘れられません。尾瀬の自然は聞きしに勝る素晴しさでした。そして、その感動を深く共有出来るわかば会の皆様との交流も楽しく、再び参加したい気持ちでいっぱいです。

とまどいの日々

27-2 三浦 暁子

〓夫婦とも三田の卒業生と伺っております。最近暁子夫人が本を出版され三田の日々を語っておられるので一文を寄せていただきました。〓

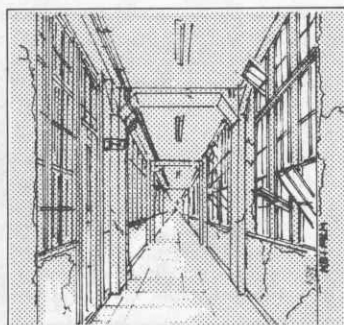
昨年の暮れ、私は、『テーマは愛』という本を出版しました。結婚してから最近までの約十年間に起こったことを、とりとめのないままに綴ったものです。一人で本を出すのは初めての経験でしたので、とまどっているうちに、一冊

の本ができあがってしまったというのが、正直な感想です。もっとも、今回のこととは関係なく、私はいつもとまどっているのかもしれない。

子供の頃から、様々なことに対して、これでいいのか、これからどうなるのか、と、いつも不安でした。そして、三十四歳になった今も、そうした気持ちをもてあましながら、毎日を過ごしているのです。

三田高校で過ごした三年間も、もちろん例外ではありませんでした。十五歳から十八歳という年齢は、それだけでなく、将来や自分の生き方について悩む時期です。私も人並に、生きていくことにおびえている女子高生でした。その上、当時、私を取り囲んでいた三田の校舎は、暗く、重たい雰囲気を出すところでした。五十年もの歳月を重ねる建物だというのですから当然です。それは悩みを抱える高校生にとってまさにうってつけの舞台装置だったといえるでしょう。

ただそうした校舎の暗さとは裏腹に、三田高校には、生徒を優しく見守る暖かさがありました。規則でしるべきこともなく、かといって突き放すわけでもありません。校則を振りかざし、高圧的な態度



で生徒に接するような先生も、いらっしゃいませんでした。それは生徒が校則を犯してしまったときでさえも、変わることは無かったのです。だからといって、生徒と友達のように親しげに接するといふわけでもありません。あくまでも、物を教える側の人間としての立場を保ち続けていらしたと記憶しています。

心が乱れがちなその頃の私にとって、こうした一見クールな対応は、何より有難いものでした。指導という名目で、私生活の細かいことまで逐一干渉される高校生もいるというのに、私たちは決められた最低限の義務さえはたせば、そっとしておいてもらうことができたのです。しかも、ついに一人では解決できないと観念した時は、自分の方から先生にアドバイスを求めれば良いのです。このように、三田という高校は、

独特の距離をおいて生徒を見守る不思議な術を心得ていたように思います。その不思議な視線を感じながら過ごした三田での生活は、私にとって得がたいものだったといえましょう。

「わかば」を読んで

3B 原村 文

わかば第三十二号をお送り下さいますと有がとうございました。山荘の利用は私には無理と思いますがこの地は昔植物観察で何度も歩きましたのでイラストマップも特集も大変興味深く拝見しました。又日頃私がこれ迄任せに過して来ましたが第六高女でのびのびと個性をのびしていただきましたお陰と有がたく思っておりますので依田好雄名誉会長の「丸山丈作先生のこと」は大変感銘深く拝読し、感謝の念を新たに致しております。一言御礼です。

イラク脱出行

客員 笠井 純子

〈現在母校で物理を教えているらっしゃる笠井純子先生が昨夏にイラク旅行をなさいました。その時の様子を書いていただきました。〉

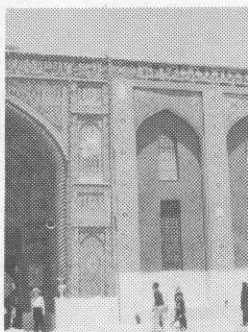
八月二日未明、私達遺跡巡りの一行二十三人はバグダッド空港へ到着した。「戦争を始めた国へ戦争を始めた日に入ってしまった」のを知る由もなかった。

市内ホテルでしばし旅の疲れをいやし午後から観光ということになった。外へ出ると熱気が迫ってくるという感じで、摂氏四十六度だと言っていた。イラク博物館、アッバシッド宮殿、戦争記念碑、スーク等を見学したが、突然バスが止められ兵士が来て驚かされた。禁止区域を撮影したと疑われた人がフィルムを没収されたりした。

ホテルに戻り夕食を取る頃、何の説明もなく退去命令を受けた。とんでもない国だと怒ったが、小さいホテルへ移り窮屈な思いで朝を迎えた。そこは軍事基地ゲート前で、警備の兵士達に囲まれた気持ちになってきた。

まだ先に期待し、弾丸道路を南下した。イラクは産油国のため立派な道路が国の縦横に走っている。途中ウハイデル城塞に寄った。ここは紀元前アラブ人が初めてペルシャに攻め込んだ時通ったという由緒ある城塞だ。古代都市遺跡パピロンでバベルの塔跡の荒地の凹凸を見た。宮殿などがエジプトからの出稼ぎ労働者の手によって修

復が続けられている。焼きレンガに「サダム・フセインが修復せり」というアラビア文字が焼き込まれており、彼の権利欲に驚いた。パピロンに二泊しナシリアに向かう途中見たウルク遺跡は、都市の基底部しか残っていないのだが悠久のロマンを感じさせるのに十分であった。しかしこの日が観光の終りであった。バスラで昼食後私達は初めて知らされたのだ。二日未明クウェートに革命が起こり、新政権の要請によりイラクは救援軍を派遣した。国境や空港は閉鎖、外部との連絡は不能。つまり閉じ込められたということ。



日本へ帰れるだろうかという不安に加え仕事のことを気になり出す。こういう非常事態に思い浮べることとはこんな日常的なことだったのかと意外だった。

バスラはクウェート沿いのイラク国境に近いすさまじい町であった。強い風に砂塵が舞い、イラン・イラク戦争の瓦礫、シャトルアラブ川を埋める大型沈船、沢山の

兵隊。危険なので今来た五百五十キロをすぐバグダッドへ戻らねばならない。途中沢山の戦車とすれ違おうと恐れけど臨場感満点でワクワクしたのは何故だろう。夜中にバグダッド郊外のクテシフォンに着き二泊することになったが出国のめどは立たず、国内にいる限り安全なので国境に近い北の町モスールへ向かった。ニネベ・オペロイに一泊し、陸路ヨルダンへ出られそうなのでバグダッドで待機しようというのだ。この時は嬉しくて妙にはしゃぎたい気持ちになった。やはりずっと不安に圧迫されていたのだ。

何回も検問を受けたこと、兵役で閉店になっている店、徴兵検査のためゲートに並ぶ人々。いつも道路を睨んで点検する無数の砲車台と兵士達。国全体が軍事基地でその中に町があり畑があつて人々の生活があるように見えた。そして国中到處に大統領の姿絵が立ち並び、テレビで大統領を讃える歌を繰り返して歌っている。国民がそういうやり方を受け入れているようにも見たのだが本場の所はどうなのであろう。鈴なりになった兵士達がこつちを見ている何台ものトラックとすれ違った時が一番恐ろしかった。

ここからアンマンへ向かう九百

八十キロの逃避行は十日夜七時四十五分に開始、星を仰ぎ砂漠をひた走り、十一日午前四時三十分イラクの国境検問所にとどまり着いた。出国を許されないクウェートの人達が路上に何人も仮寝をしているのを見ると我々は大丈夫であろうかと気がもめた。簡単な荷物検査の後一人一人パスポートの顔写真と照合され、六時に出国。それからしばらく中立地帯を走りヨルダンのルウェイシッド検問所に着いた。すでに先客もあり、入国ビザの申請もかなり手間取った。事務手続きものろくもうダメなのではないかと思つた程である。待つこと三時間半やっと入国できた。その後タイ経由で十四日遅く帰国した。今は新聞やテレビの報道を限なく見ているがますますイラクがわからなくなった。やっぱり不思議なアラビアン・ナイトだ。

「わかば」を通して会員の親睦をはかりたいと思つてます。是非皆様の近況をお知らせ下さい。母校の先生方の分もあわせて「音信」欄で順次紹介していきます。同期会・クラス会・クラブOB会などで集まった事や個人の活動などお便りお待ちします。

KARUI ZAWA MAP



- 観光名所
- レストラン・カフェ
- ブティック
- みやげ・その他

KYU-KARU GINZA MAP



事業運営委員会主催行事

〈コーラスの集い〉

今年も加藤恭二子先生の指導でコーラスを楽しみます。5年目になりました。ひと夜、たっぷりと歌う楽しみを持てるのも山荘の集いならではの…です。奮ってご参加ください。

- ・期日 9月1日(日)～2日(月)
- ・定員 20名
- ・参加費 7,400円(申込金5,400円)

〈第6回 山荘セミナー〉

豊かな明日へ!“楽しく生きるために”

今回は、人材育成センター所長鳥居恭子さん(8-5)の機知とユーモアに富んだ講演です。在学中は生徒会長を勤め、社会人としても常に前向きに明るく生きる鳥居さん。あなたの明日を見つけに、ぜひ山荘セミナーにご参加ください。

- ・期日 7月27日(土)～28日(日)
 - ・定員 20名
 - ・参加費 7,400円(申込金5,400円)
- 要項は参加者全員に配付します。

〈ヨガの集い〉

「ヨガ」は年毎にご好評を博し、今年も二夜に亘り講習会を催すことになりました。講師はお馴染みの千葉紘子(元宝塚スター汐風享子)さんです。皆様お誘い合わせでお申込み下さい。初めての方もぜひどうぞ。

- ・第1日 7月20日(土) 定員20名
- ・第2日 7月21日(日) 定員20名
- ・参加費 1泊 7,400円(申込金 5,400円)
2泊13,800円(申込金10,800円)

参加はご希望の日1泊のみ、あるいは2泊何れでもかまいません。要項は参加者全員に配付いたします。

〈第8回 親睦ゴルフコンペ〉

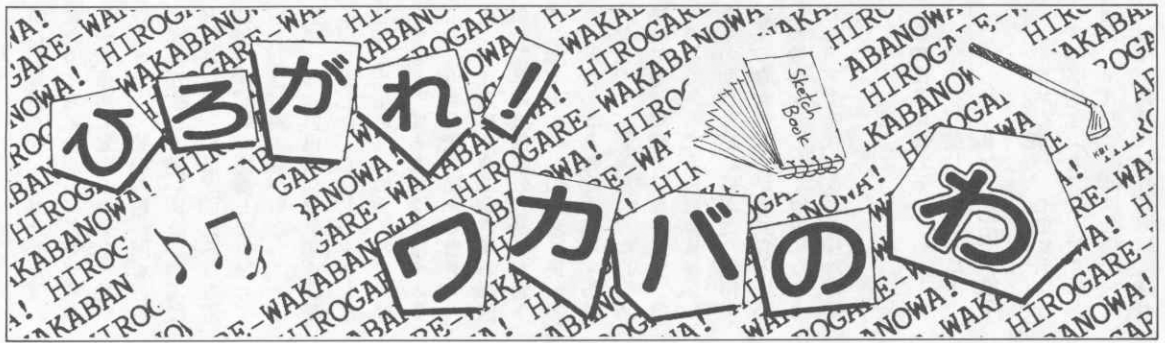
親睦ゴルフコンペは、第六から三田まで、男女幅広い方々でお楽しみいただいております。

腕に自信の有無は問いませんので、あなたも思い切って参加なさってみませんか。今年も9月に計画しました。お申込みをお待ちしております。

- ・期日 9月7日(土)～8日(日)
- ・場所 軽井沢72ゴルフ・東コース
- ・集合 9月7日 AM9:00
東コースクラブハウスフロント前
- ・スタート AM9:30(雨天決行)
- ・プレー方式 ダブルペリア方式
- ・定員 6組24名(受付順)
- ・参加費 35,400円(申込金5,400円)

※各行事の参加費には山荘の宿泊料金を含んでいます。





私にも出来るヨガ

15才 石原 満喜子

ワカバ会の「ヨガ教室」へのおさそいをうけた時、妹に「ヨガ教室が軽井沢の山荘であるので、行くことにした」と話した所、「ヨガはむずかしくて、はずれになつたら大変よ」と、おどかされました。でもそんな高度なものではなく、初心者向と言うことでした。大きなバッグに色々つめて軽井沢につくと先生と、杉本様、ワカバ会の方々が出迎えて下さいました。先生はとても若々しく、やさしくて、私達も張り切っていました。内臓に良いやり方とか、姿勢の良くなる方法とか、色々です。呼吸法、しかばねのポーズ、猫のそり、うさぎ、魚のポーズ等は割合簡単ですが、うでを組んでひねってのポーズ、体をひねって前かがみ等は後で痛くなりました。いつも使っていない筋肉を動かすので、「いたい、いたい」の連続の方もおり、(私とて同じですが)少しは動くようになりました。私はむち打ち症の後遺症があるので、特別な方法をおしえていただきました。毎日少しずつ練習して、やわらかくなる様にしたいものです。帰ってから孫にやらせると、簡単

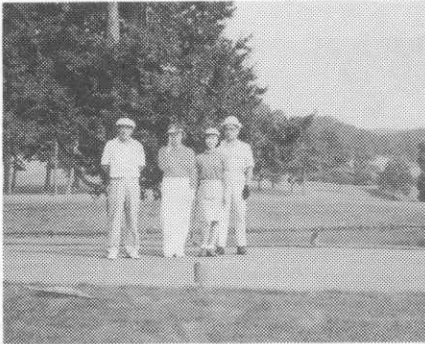
にやっけるのです。やわらかいのですね。

今年はとても暑い軽井沢でした。まだ店開きしていない所も多く、人出もまあまあでしたが、山荘での楽しい語らい、おいしいワインでのお食事等を胸に帰ってまいりました。又来年も参加して、少しでも前進出来る様に望んでおります。

ゴルフコンペに参加して

2-2 長澤 樞美葉

毎年春の会報「わかば」で親睦ゴルフの募集を拝見していました。が一人では行けないし、誰か誘って...と考えている中、二三年たち今年こそと思い立ちワカバ会に電話した所、主人もゲストで参加出来ますとの事で、初めて夫婦で出



席しました。軽井沢は道が混むのでこの何年間さけていたので、早速あちこちで道路状況を聞き、いよいよ当日朝四時半におにぎりを持って出発しました。七時前に72ゴルフ場到着。フロントで会費を払ったり、お茶を飲んだりしてきよろきよろしましたが、勿論知っている方は一人もいないけど、そこは同じ学校仲間の雰囲気、何んとなく感じが分り、全員九時半集合、曇り空を眺めつつ、ティオフ。72コースは初めてでしたが、ラフがきつく、距離があり、池ありで、大変面白く、前半アウト終った時に一ツ後の組の椎名(8回)さんが、ワンオーバーで廻ったとの情報で、私達「シングルねきつ」と話していましたが、トータル79でベストグロスでした。午後一ツ前の組の19ウ岡直子さんが、ショートでホールインワンを達成され、皆大騒ぎ。夜のパーティでは余韻さめやらず、十時頃までパーティが続きました。又75歳の青木菊葉先輩を囲み、来年も是非出席してほしいと、御子息と同じ年会の八回生の元お兄ちゃん達がさわぐし、中々眠れない一日でした。私は運よく沢山のハンディを頂いて優勝出来、本当に感謝しております。来年も又宜しくね。

昨年の行事

— 運営委員会主催 —

ヨガのつどい

平成2年7月

第五回 山荘セミナー

スケッチを楽しむ会

平成2年7月

第七回 親睦ゴルフコンペ

平成2年9月

コーラスのつどい

平成2年9月

山荘セミナー

スケッチに参加して

19ア 坂下 道子

絵の趣味をもつ浦田さん(高3)と参加する事になり道具を軽く工夫して猛暑の続く東京を脱出です。写生の経験が少ないのに大丈夫かしら等お話する間に窓外に山が見え始め軽井沢に到着。車に乗り継いで初めての山荘へ一時集合です。講師の成田先生と全員に挨拶し直ぐ現地牧場辺りへ車でお連れ下さり恐縮致しました。三田卒の方ばかりです。あたり一面の緑で構図がきまらず苦勞でした。若い方達は思い思いに描き進んでいます。畦道を渡る爽やかな風が

真に心地良くゆったりとした気分になり乍ら絵は思うに任せず焦り気味。休憩し先生の作品を拝見にいきました。牧場の白い門を近景に草原が広がり遠い山々が霞んで匂う様な緑、校歌が聞える様な雰囲気です。暫く感嘆して見詰めていました。霧が静かに立ちこめて来て一面乳白色になり肌寒く山荘に戻りました。心尽しの夕食を戴き乍ら先生と三田の美術室で一緒に勉強した頃の事等話がはずみました。サロンで八時から合評と一人づつ丁寧に直し戴き乍ら構図色彩絵具の選択等分り易くお話しと話し合いました。雨音のする静かな夜です。翌朝鳥の声に目覚め快晴です。湖畔で又描きます。晴天の下で夢中で筆を走らせました。先生の助言で白い塔が光り納得、近くの食堂で和やかに昼食と歓談、又の機会をを忙しく解散になりました。学生時代に戻った様な体験でした。

夜の山荘に流れる

美しきハーモニ

9ア 細田 俊子

コーラスの集い、心魅かれてダンスに堪能な(九ア)木村さんと同行。キャリアだけは合唱十一年の私は、九月二日軽井沢駅に降り

立った。一路山荘へと車は走行。沿道には瀟洒な建物が目立つ、色とりどりのコスモスが咲き乱れていた。処処のテニスコートから打球の響きが聞え秋の空と澄んだ空気が心地良い。レマン湖周辺には白色のコテージ風の店が並び若者の街原宿を連想させる。やがて坂を登り山荘に到着。二棟の建物を覆う木立、残照の木もれ陽が透きてきらめく。

加藤先生と其の合唱団の方々とワカバ会参加人員二十数名である。夕食は職員の方達の心のこもった献立。初対面とは思えぬ親しみ溢れた食事であった。

待望のコーラス。熱心な発声訓練は先生独自の研究で、惜しみなく伝授下さるお人柄が嬉しかった。夏の思い出・若者たち・川はよんでいる・もみじ、にこやかな雰囲気作り心が一つになり、静かな夜の山荘に美しいハーモニが響きゆきて忘れ難い思いが刻まれる。校歌に続き先生のソロ、豊かな声量と詩の心胸に迫るものがあった。幹事の滝本さんのお茶の接待もあつて終了。余情の醒めぬ低先輩、同窓の方との歓談に夜の更けるのを忘れた。加藤先生のリサイタルでの再会、来年の山荘コーラス等心は弾んでゆく。私は目下、日比谷、都芸術劇場参加

の為、楽譜に挑戦の日々である。



山荘でおここの合宿

5ア 佐々木 昭

山田流箏曲花橋会(主催、藤井千代賀、本名岸辺 從(9ウ卒)は私もこの会に所属して居ます)は昭和57年以来、毎年ワカバ会山荘で会員の研修と親睦のため四泊五日の合宿を行って居ます。尺八の演奏家も参加され、四泊の延人員は年によって差がありますが、八十名から百名位になります。日課は朝食後昼食までは先生対生徒の個人稽古。午後は自由時間で、テニス、サイクリング、ショッピング、散歩、部屋に残っての自習等

と思い思いに過します。夕食後は二間続きの部屋で、秋の色々な演奏会に備えて、尺八も交えての演奏会形式の練習を九時頃まで。先

みちのくの古寺社巡礼

2-1 山根 朝子

10月20日11時、一の関駅に集合。好天に恵まれ和気藹藹、旧交を温めつつ、朋有遠方より集りて28人乗りのバスは満杯で出発した。

厳美溪を右に左に縫いながら、達谷窟では坂上田村麿の作という風雪で摩滅した大日如来を仰ぎ見る。次いで毛越寺。朱塗の新本殿、手入のゆき届いた大泉池など、箱庭を見る思いの中に、小さく古びた常行堂の前では古人が五穀豊穰国土安穩を願って、『延年の舞』をくりひろげたのでは、と想像する。

昨年の行事

—企画委員会主催—

第五回 自然と親しむ会

平成2年6月

第四回 史蹟探訪の会

平成2年10月

〈一日見学会〉

NHK一日見学会

平成2年7月

都心探鳥会

平成2年12月

昼食後、稲穂を積干してあるのどかな風景を満喫しながら中尊寺到着。坂道の両側に老杉がそびえ立つ月見坂を登り、本堂を経て金色堂に入る。藤原三代の栄華を物語る平安時代の美術・工芸の貴重な文化遺産は平泉文化の粹を今に伝え、奥州の地に一大仏教王国を建立したことを想像させる。更に東に進んで北上川に臨む高館山の伊達綱村が建立した義経堂に上り暮れなすむ稲田を覆うように煙が立ちなびき、薄暮の詩情溢れる情景は、義経の最後を想い立ち去り難いひとときであった。余韻を積

んでバスは一路山上の宿舎に。

夜景の美しさに見とれ夕食後は、それぞれの自分史を語りながら、聞きながら、生活の多彩さに啓発され感動する。

翌日黒石寺・正法寺・毘沙門堂を廻り柱・櫓など一刀ぼりの素朴さに打たれる。東楽寺の木のおもりが伝わる仏像、天台寺のなたぼりの聖観音、優しい香りが漂う。

都心探鳥に参加して

19イ 彦坂 明子

師走六日の一日、春の様な暖さを忍池の鴨の群を見学、初めての参加でしたが、笠原先生の説明と、朝佐々木会長から手渡されたワカバ会の方の丹精の図入冊子を手にとり、十時から約二時間余り十人の方々と一緒に過ごして頂き、感激して帰宅しました。

暖冬の為、蓮の未だ沈まぬ池を眺め鴨に餌を与え乍ら、おなが、ほしはじろ、きんくろはじろ、ひどり等の特徴にうなづき、又遠く茸の中に住むと言われる鶴をオペラグラスで探したりして一時を過ぎました。何年振りかで動物園にも入り、フラミンゴを見て幼稚園児にまじって喜び、猿にピーナツを投げて楽しんだり、大きくなったパンダを眺めて嬉しく心うきうき

きでした。

うその様に静かな昼の一時、一人では到底歩く事もなかった裏通り寛永寺、浄門院、輪王寺の黒門、徳川四代、五代の廟、等、都心にもこんな静かな所があったのかと感心し乍らの散策、そして十二時半頃笹乃雪で、輪王寺の宮様お好みの芥子菖館のお豆富等数々のお料理を頂戴し乍ら和気霽々の楽しい一時を、次会を約束し名残惜しく解散しました。

NHK見学に参加して

8-2 堀口 須美子

たまたま電話をしたワカバ会のお誘いを受けてNHK見学に参加することにしました。同行者もな



く多少心許なく愛宕山の玄関に入りますと、軽井沢で、尾瀬で、東北の旅でお世話になった先輩諸姉のなつかしい笑顔がそこそこで迎えて下さり、あゝ来てよかったと思えました。博物館では、折しも放映中の「濃々と」に登場する日本最初のテレビ受像機や、最新の衛星放送についてのお話を聞き、改めて放送というもののについての認識を新たに致しました。次いで懐かしい放送劇の声や歌を聞いてさよめく頃には、その反応によって年代が知れたり、子供に帰って楽しいひとときでした。

告知板

☆石井好子、13イ

パリ祭コンサート

7月12日13日14日、東京五反田ゆうばうと。問合せは03-3572-1035 石井好子事務所

☆加藤恭二先生 旧職員

「第20回加藤恭二子ソプラノリサイタル」一九九一年11月18日(月)午後7時 こまばエミナース 問合せは 03-3331-0787 加藤

☆桐生郁子、高4-1

第20回 桐生郁子独唱会「オルガンと共に聖書に寄せて」一九九一年12月17日(火)午後七時 武蔵野市民文化会館小ホール(三鷹駅下車)問合せは03-3320-1181 桐生郁子

☆依田菜穂子、高27-7

「元熟巨峰の宅急便販売」本物の味の元熟巨峰を生産しています。依田農園の自信作を一度お味わい下さい。問合せは長野県須賀市小島町八八四、〇二六二-四五一七八 依田農園

☆島本公乃、高37-6

「哀しいからやさしい」斉藤紀美子作、堀口始演出、旧題は「すみれさんが行く。」病院を舞台に

おばあちゃんと少年の心を描く。

5月18日、19日前進座劇場。5月20日、26日朝日生命ホール。

「オンナたちの慟哭」(仮題)瓜生正美作、演出。先の戦争を共に戦った女性たちを通して描く。9月5日、9日朝日生命ホール。11日、13日前進座劇場。14日、17日本多劇場。

「翼をください」ジェームス三木作、演出。県立の進学校と隣接する私立のおちこぼれ生徒たちの心のかつと。11月25日、12月1日俳優座劇場。問合せは03-3352-1692 青年劇場、広瀬

☆大脇潔 高12-4
最新設備(MRL、CTスキャン等)をした病院と一体となった会員制健康増進クラブ(メディテイルム奥沢)及び生涯契約式都会型シルバーマンション(ロイヤルライフ奥沢)を開設しました。問合せは世田谷区奥沢三三三-一三三 大脇病院03-3720-1151

「告知板」は会員の皆さまの楽しい情報を交換する場です。どうぞお気軽にご利用ください。

原稿は手紙でワカバ会事務所宛にお送り下さい。

委員会報告

総務委員会

本委員会では、事務局の円滑な運営を図るため、七月に他の委員会の理事も参加し事務局との懇談会を開催しました。それにより事務局担当者の分担を明確にし、各分担者は理事会及び各委員会の決定に基づいて、責任をもってそれぞれの業務を執行することとなりました。この外、慶弔規程の見直しをしました。

委員長 小野 絃一 (8-3)

高橋 登志 (1E)

鈴木美智子 (9-3)

平山 孔嗣 (29-2)



事務所風景

企画委員会

昨年も「自然と親しむ会」「史蹟探訪の会」「一日見学会」を実施しました。既に何回かご参加の方も、初めての方も、年齢の差も打ち越えて、楽しい集まりを持つことが出来るのは、同窓会なればこそと痛感します。平成二年十一月二十四日、十二月四日に企画委員会を開き、別掲の記事通り本年度の企画を立てました。お子様連れでご参加頂ける見学会も加えたので奮ってご参加下さい。

委員長 佐々木 昭 (5A)

瀧本阿弥子 (13I)

中村左都子 (7-2)

事業運営委員会

平成二年度軽井沢山荘及び鶴ノ木駐車場の運営についてご報告します。

軽井沢山荘は、本年より宿泊室を新館のみとし、特集の効もありほぼ満員。大人九九三名、小人一五二名、幼児三三名の利用でした。尚、平成三年開荘期までに従業員休憩室新築のため、設計、見積等プラン進行中です。

駐車場は十月より月額一万五千円に料金改訂、27台満車です。

委員長 山口謙一郎 (8-1)

杉本貴久子 (16-オ)

広報委員会

齊藤 節子 (7-3)
中垣 俊二 (8-2)
中島 紀子 (11-7)

広報委員会も現在のメンバーで

広報紙「わかば」の編集を行うようになって三年目となります。最初の年はなれないことで手順もわるくずいぶん苦労しました。編集会議も回を重ねる度にきこころもわかり、いろいろおしやべりをしながら楽しく仕事をしています。

なかなか時間がとれず今年は主に土曜日の午後を編集にあてていますがつい熱が入って時間を忘れることもしばしばです。「わかば」

に対するご意見やご要望などをおよせいただきますと、会員のみなさま読んでくださったのだなあと編集委員一同疲れもふっとぶようです。今後も全員力を合せて和気あいあいと楽しい「わかば」をみなさまにお送りできるよう頑張ります。会員のみなさまの活動状況、同期会、クラス会の呼びかけ、報告等お寄せください。一緒に編集をお手伝いいただける方、お申し出ください、お待ちしております。お若い方、歓迎致します。

委員長

小川しげみ (7-7)

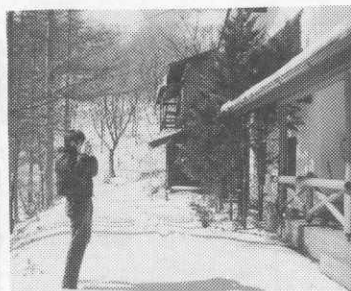
小針 淳 (40-3)
押原 建三 (40-8)

会計委員会

柳沢 孝子 (22-2)
戸田 雅子 (19-1)
笠原 俊也 (15-4)
中垣 俊二 (8-2)

会計委員会は、他の会とちがいはありますが、会の貴重な財産を適切に管理運用するために堅実な活動をモットーに努力致しております。平成二年度の委員会の開催日は左記のとおりでした。

四月九日、同一二日、同二〇日、五月一〇日、七月一〇日、九月二七日、十一月七日、十二月七日、



雪の山荘取材風景

二月七日及び三月四日
委員長 笠原俊也 (15-4)

松永佐智子 (12E)

玉置修次 (5-4)

齊藤節子 (7-3)

平山孔嗣 (29-2)

平成元年度決算平成2年度予算

科 目	平成元年度決算額	平成2年度予算額
Ⅰ 収入の部		
① 基本財産運用収入	4,438,022	4,500,000
② 会費・入会金収入	6,982,700	4,905,000
③ 事業収入	6,742,775	6,600,000
④ その他収入	3,820,127	7,450,000
当期収入合計 (A)	21,983,624	23,455,000
前期繰越収支差額	35,398,185	37,654,538
収入合計 (B)	57,381,809	61,109,538
Ⅱ 支出の部		
① 事業費	10,608,260	12,750,000
② 管理費	8,865,300	6,910,000
③ その他支出	253,711	170,000
当期支出合計 (C)	19,727,271	19,830,000
当期収支差額 (A)-(C)	2,256,353	3,625,000
次期繰越収支差額 (B)-(C)	37,654,538	41,279,538

理事・会等報告

- 4 月理事会 出席 9 名
 ○総会・決算、山荘運営等。
 5 月理事会 出席 11 名
 ○予算・決算、総会当日の運営等。
 評議員会 (12 日) 出席 57 名 (含、委任状) 総会議案を承認
 第 53 回総会 (20 日) 出席 169 名
 評議員改選は選任を会長に一任。
 総会のあと、親睦会食、福引等。
 7 月理事会 出席 12 名
 ○総務、運営、会計委員会報告。
 事務局との懇談会 (26 日) 出席理事 9 名、事務局 2 名。
 9 月理事会 出席 11 名
 ○各委員会報告。広報 (平成 3 年の会報発行準備について)
 11 月理事懇談会 出席 6 名
 12 月理事会 出席 12 名
 ○山荘従業員室増設、会報印刷方法変更、企画次年度計画、会員名簿発行その他各委員会報告。
 1 月理事会 出席 10 名
 ○各委員会の報告。
 3 月理事会 出席 8 名
 ○次年度事業計画・予算、総会準備、名簿発行等。

〈支 部 連 絡 先〉

札幌	5エ	白居 和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋 辰代	〒981-04	宮城県桃生郡瀬野蒜字北赤崎32-7	02258-8-2028
浦和	18.4オ	中村 泰子	〒336	浦和市前地 3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒260	千葉市磯辺 6-6-10-304	0472-77-3469
湘南	19ウ	片山アキ子	〒251	藤沢市辻堂西海岸 2-8-3-207	0466-35-3435
静岡	18.4イ	田中 和子	〒420	静岡市五番町20	0542-52-8831
名古屋	15イ	小林れい子	〒446	安城市池浦町池西206	0566-76-6819
関西	16ア	松井 好	〒631	奈良市神功 5-9-24	0742-71-8226
京都	1D	米田 道子	〒651	京都市右京区西院東淳和院町33	075-311-2480
福岡	2E	富田 保子	〒812	福岡市東区貝塚貝塚団地 5-45	092-641-0381
大分	4-4	工藤 延子	〒870-02	大分市政所473	0975-92-0480

追悼

謹んでご冥福を
お祈りいたします

所属 没年月

西村三郎 (第七代校長)	1	A	3	2	村田益子 (大角)	9	ア	2
岩崎義雄 (旧職員)	1	10	3	2	大森喜代 (沢野)	9	ウ	7
河野 清 (旧職員)	2	5	2	7	関 みち (小林)	11	エ	6
中熊 清 (旧職員)	2	7	2	7	大西竜岐子 (町田)	11	エ	11
徳永喜久子 (旧職員)	2	7	2	7	石川悦子	12	イ	1
藤原カノ (旧職員)	3	2	3	2	中島智恵子	12	オ	1
岸田祥子 (小山)	1	4	2	4	後藤歌子 (川島)	13	エ	1
高島恵津子 (小久保)	1	5	2	5	田中 渚	15	ア	2
菅 八重 (角田)	1	E	2	11	若林寿恵子 (森)	16	イ	1
佐久間絹子 (鈴木)	2	E	2	11	嶋野昌子 (山下)	17	イ	62
植山愛子 (中島)	3	E	63	4	高橋美智枝	18	ウ	3
松田静江 (大西)	4	オ	2	4	伊藤郁子 (今井)	19	オ	2
中川弘子 (豊島)	4	オ	2	4	中川芳子 (宮田)	3	1	2
河野智代子	5	ウ	2	4	高橋道子 (原)	3	1	2
浜田佳久子 (斎藤)	5	エ	3	1	坂本明子 (橋本)	5	1	1
萩原通子 (長谷川)	5	エ	2	6	山下幸枝	5	1	5
茨 淑子 (高橋)	5	エ	2	10	岡本香児	5	1	5
福井日出子	5	オ	2	12	田島美沙子 (長尾)	7	1	5
高橋安子	5	オ	2	7	安部広明	8	1	3
岡林富喜 (弥長)	6	エ	1	9	松本匡史	8	1	3
飯田喜久	6	オ	1	5	松平康博	11	1	4
川名とく子	7	イ	1	1	茂呂敏雄 (呂)	13	1	3
江成カヨ (志村やあ子)	7	イ	2	6	保谷千恵子 (石渡)	13	1	3
手柴千代子 (大谷)	7	エ	2	5	柴田美智子 (八木)	15	1	2
幼方静枝	9	ア	3	2	柿坪信子 (中当)	15	1	2
					内山忠雄	20	1	3
					松井まち子 (辰野)	21	1	4
					大野雅一	22	1	5
					藤井次郎	26	1	7
					古川裕子 (橋本)			

あなたも参加しませんか! /

—企画委員会主催—

第六回 自然と親しむ会

回を重ねて居りました「尾瀬シリ」は今回はお休み。

今年は名だたる日光に『知られざる日光』を求めます。講師は林野弘済会グリーンサークル講師・笠原最季雄先生です。多数ご参加下さい。

期日 6月9日(日)～10日(月) 一泊二日

定員 20名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 約9千円(宿泊費、保険その他)

集合地までの往復運賃(自弁)

申込 5月7日までにワカバ会事務所に電話で。

行程 二日とも徒歩またはバス。

◇要項は参加者全員に配付します。

第五回 史蹟探訪の会

第一回の「琵琶湖十一面観音めぐり」の続編ともいえるこの度の巡礼は「湖東より甲賀へ(主として十一面観音)」の旅です。講師は笠原最季雄先生。ふるってご参加下さい。

期日 11月9日(土)～11日(月) 二泊三日

定員 25名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 約3万9千円(現地バス代、宿泊費、保険その他。集合地までの往復

運賃(自弁)

申込 7月31日までにワカバ会事務所に電話で。

◇要項は参加者全員に配付します。

一日見学会

ガスの科学館と港めぐり

夏休みに入ったばかりのお子達を誘って親子見学はいかがですか。全行程は東京ガスがバスを仕立ててくれました。

期日 7月26日(金) 日帰り

定員 50名(親子でもお一人でも)

参加費 約二千五百円(弁当代、船賃、保険等)

申込 5月15日までにワカバ会事務所に電話で。

◇要項は参加者全員に配付します。

行徳と葛西水族館

師走の一日、東京湾に集まる海鳥を見に出かけませんか。講師は笠原最季雄先生です。皆さまのご参加をお待ちしています。

期日 12月5日(木)

定員 20名(申込先着順、定員になり次第締切)

申込 9月25日までにワカバ会事務所に電話で。
◇要項は参加者全員に配付します。

事務所だより

◇会費納入のお願い

本年度も未納会費・維持会費の納入に御協力下さいましてありがとうございます。ワカバ会は会費で運営されています。維持会費一〇二千元(年額)の払い込みは、今後もご協力下さい。払い込みは、未納会費、維持会費とも、同封の振替用紙をご利用下さい。尚、住所、氏名の他に旧姓、卒業回組、または年度をお書き添え下さい。

◇連絡の際のお願い

氏名、住所、電話番号が変った時は、ワカバ会事務所に必ず連絡して下さい。消息不明にならないようご協力をお願いいたします。クラス会、同期会、クラブOB会、同窓生の活躍などご存知の事は、ぜひワカバ会までお知らせ下さい。ワカバ会への連絡は、何れの場合も卒業回組(卒業年度)、氏名、旧姓、住所、電話番号をお知らせ下さい。

◇アルバイト募集

事務所のお手伝いをしていただける方を探しています。

会員名簿最新版

申込はお早目に

◇会員名簿の最新版を制作中です。購入御希望の方は同封の振込用紙で御送金下さい。

7年間の変動を訂正新会員約2,300人増発行予定平成4年6月定価4,000円(送料共)◇名簿に掲載するための広告を募集しています。◇連絡はワカバ会事務所まで(03) 3451-0227

◇会員名簿発行について

七年ぶりに会員名簿発行を計画しています。それに先立ち、『不明者名簿』を「わかば」に同封します。消息をご存知の方は、ワカバ会へお知らせ下さい。名簿の正確を期するため、皆さまには『名簿原稿調査用紙』(ハガキ)をお届けしますので、必ずご返送下さいますようお願いいたします。

◇ご寄贈

17ア鈴木様より、ご主人様が勤めておられる重度身体障害者授産施設「恵生園」の皆様の作品である手漉き(牛乳パック再生)の葉書70組(三枚組)と枝折50組をご寄贈いただきました。一生懸命に丹精こめられた作品は好評で山荘にて完売いたしました。有難うございました。